

## 第5回 阿波おどり実行委員会会議 議事録

開催日時 平成30年7月30日(月)午後4時～

開催場所 徳島市役所13階 第1研修室

出席者 委員8名(内代理1名) 事務局4名

### 1 開会

### 2 代理出席者紹介

### 3 議題 阿波おどりの運営等について

#### 【事務局】

資料1 秋田町おどりロードについて説明

#### 【A委員】

踊り連は自由に参加しても良いのか。

#### 【事務局】

秋田町おどりロード事務局が、演舞場と同様に連の募集をかけてスケジュール管理するようになっている。

#### 【A委員】

入口で踊り連の整理を行うのか。

#### 【事務局】

呼び込み等の整理も行われるようになっている。

#### 【事務局】

資料2 元町演舞場について説明

(質疑等なし)

#### 【事務局】

資料3 平成30年度阿波おどり運営について説明

#### 【委員長】

各演舞場の本部席には実行委員会の委員の皆様にご協力いただき、各団体の職員を配置していただくこととなっている。体調に気をつけて円滑な運営をお願いしたい。

徳島新聞社から多くの人数をご協力いただき、この場を借りて感謝を申し上げます。

当日は落とし物、迷子、熱中症など様々な事案が発生すると見込まれるが、本部席には複数の人員を配置しており、本部席で十分協議していただき、適切に対応いただきたい。また、判断に迷うような重要な案件については実行委員会本部に事務局員が詰めているので、連絡をいただければ事務局にて決定するように考えている。

豪雨等により阿波おどりを中止する際の決定方法について、例年は当日の16時に決定していたが、事務局案では原則11時に決定することとして、遅くとも16時までに決定してホームページで公表することとする。決定方法については実行委員会の企画運営を担う徳島市と徳島新聞社が協議して各委員に了承いただき決定することとしている。このことについて、意見はあるか。

**【B委員】**

例年では、徳島地方気象台と連携を密にとり、判断を行っていた。できるだけ情報を集めた上で判断をする必要がある。

**【委員長】**

例年は当日の16時に決定していたが、どう考えても中止しなければならないケースもある。そのような場合は11時に決定したい。迷う場合は遅くとも16時までに決定するのはどうか。

**【A委員】**

台風が来ている場合などは早く決定する必要がある。

**【B委員】**

有料演舞場は前後半がある。前半は雨で中止だったが後半はどうするのかなど、そのようなケースの想定が必要となるのではないか。

**【委員長】**

前後半のどちらかだけ中止にするかどうかなども含め、実行委員会として16時までに決定しなければならない。

**【B委員】**

1部は18時から開演で、2時間前の16時に決定している。ということは2部の決定も2時間前の18時に決定するのはどうか。どのように情報を流すかという問題もある。

**【委員長】**

夜遅くに降り出すケースもあり、判断に迷う場合は必ずあると思う。

いろいろなケースが想定されるが、1部開演時に2部の発表を行うのはどうか。

**【C委員】**

1部または2部だけ開演したことはあるのか。

**【委員長】**

1部や2部だけ開演したことはない。

**【B委員】**

雨が降って途中で中休みの的に中断したことはある。

【A委員】

1部を中止すれば2部も中止する形になると思う。

【B委員】

決定は遅くとも16時まででは、2時間前であれば踊り子は全ての準備が整っている。

【A委員】

臨機応変に対応しなければ仕方ないだろう。

【D委員】

情報をどのように流すべきか。

【B委員】

16時に決定して、ホームページ等で情報を発信するようになるのではないか。

【委員長】

これは、原則として開催できない場合に11時に決定、判断に迷う場合は16時、1部2部のいずれかの開催が微妙な場合は臨機応変に対応することでいいか。

【C委員】

遅くとも16時までには最終決定をしなければならない。

【委員長】

2部だけ開催すると急に言われても踊り連等の対応ができないかもしれない。2部も16時までで決めた方がいいのではないか。

原則として遅くとも16時までで決定する。ただ、状況により例外もあるということではいいか。

【E委員】

基本的には11時から16時までで決定することでよいのではないか。

【委員長】

早く決定できる場合は11時に決定する。判断に迷う場合でも、遅くとも16時まで決定し、天候の変化によっては対応することでいいか。

【B委員】

2時間くらい先であれば、雲が抜けるなど状況を読む。4時間先では不透明で16時時点では1部を中止にするが、その後の2部は開催する発表をするかもしれない。できる限り開催するという考え方で良いのではないか。

【D委員】

2部だけ開催した場合、1部のチケットを持っている方は2部に入れるか。

【B委員】

入れない。

【委員長】

指定席のため、空いている席への案内は難しい、当日券での対応になる。

【B委員】

空いている席と交換する措置はどうか。

【委員長】

現金での払い戻しの代わりに1部のチケットと交換ということか。

【B委員】

当日券は栈敷の近くで販売するので、そのような措置を取って上げれば払い戻しが減るのではないか。

【事務局】

1部と2部のチケット交換はシステムの的に難しい。

【委員長】

購入したチケットは後から払い戻しになるのか。

【B委員】

後からの払い戻しになる。

【A委員】

なるべく親切な対応でお願いしたい。

【E委員】

1部2部共に開催するか、中止にするかどうか、それぞれのタイミングで判断が必要ではないか。

【B委員】

11時で発表するのは完全に中止の場合であり、台風が来て開催ができない等の場合である。11時までに開催するかどうか判断がつかない場合は16時に発表を行うようになる。

【E委員】

先程の話だと11時に中止で16時に開催するかもしれないことはないのか。

【委員長】

11時に中止にした後に、開催するようなことはない。

【E委員】

中止になった場合運営はどうなるのか。運営側は現場に行き対応等が必要になるのか。

【事務局】

中止の場合は演舞場の開場をしないため、実行委員の皆様に対応していただく必要はない。事務局で対応する。

【委員長】

豪雨台風等により阿波おどりの中止を決定する時間は、原則一番早い時間で11時、遅くて16時。天気によっては例外もあるがこの内容でよろしいか。

(異議なし)

【B委員】

仮設トイレの数は昨年と同様か。

【事務局】

少なくとも昨年度よりは増えている。

【A委員】

足りないという意見はよく聞いており、大きな問題である。

両国通りは商店街の店舗に入っただけで断ることができず、困っている。商店街にはずいぶん協力いただいている。

【B委員】

銀座の入り口付近は非常にトイレが少ない。

【A委員】

両国公園についても見かけよりも小さく、数が少ない。

【委員長】

阿波おどり期間中に両国のトイレに行ったら暑いなどの苦情も聞いたことがある。

去年よりも増えている箇所があるということによろしいか。

【事務局】

事務局としてもできる限り増設したいと検討はしていたが、設置する場所と排水の関係で新たに設置できる場所がないのが実情である。

【B委員】

去年も商店街の方々からトイレに関して意見は聞いている。

トイレの配置については、大変難しい問題でもある。

【事務局】

資料4 阿波おどり有料演舞場内の撮影・取材規制について説明

【A委員】

南内町演舞場の撮影エリアは限られているのか。

【事務局】

特別観覧席の横側の一部だけになっている。

【A委員】

撮影エリアが限られているのは狭いからなのか。

【事務局】

南内町については桟敷席の地面と同じ高さであり、観客の邪魔になるためである。

【事務局】

資料5 警察への警備の要請について説明

【A委員】

警察は阿波おどりを開催するつもりでいるのではないか。警備の要請ということは改めて何かしなければいけないのか。

【事務局】

例年、警察に対して資料5のような形で要請することとなっているものである。道路規制等も含めて協議を進めており、警察で対応していただいているところである。

【A委員】

今年は交番が集約され、新町橋交番がなくなっている。この場所は移動交番と聞いているが。

【事務局】

新町橋交番については統合により建物だけ残った状態になっている。阿波おどり期間中は警察車両等が配置され、臨時的に交番を設置することになっている。

【A委員】

8月に新町橋交番跡地に暴力追放センターが入り、それに伴い建物内に個人情報が含まれている資料がある。今までであればトイレを貸すこともできたと思うが観光客に利用していただくわけにはいかない。その辺りのことも考えていただきたい。

【委員長】

特攻服を着た少年について、近年はいないのか

【A委員】

近年ではいないと思われる。

【事務局】

資料6 円滑な阿波おどりの実施について説明

【A委員】

一番心配しているのはチケットの販売状況であり、今年は曜日配列がよくない。西日本豪雨や猛暑の影響もあり、来場者は減少するかもしれない。さらに、いろいろな問題があり、内部が統一されていなかった、そういったことの影響がでるかもしれない。現在のチケット販売状況はどうなっているのか。

【委員長】

7月27日の時点でチケットの販売率が46%であり、昨年7月24日が53%であった。

【A委員】

今年は、チケットが前年よりも売れるという要素は少ない。そういう中で結果が悪いと総踊りをやめたからだと言われる。報道関係の方々にも協力いただかないといけないと思うが、私たちは総おどりをやめる目的で実行委員会をしているわけではない。長い間、行ってきた阿波おどりで問題が蓄積しており、それらをリセットして新しく

やり直そうという形で行っている。阿波おどりに対して分からないこともあるが、今までの歴史を壊さないで、さらに発展させたいという気持ちでやっているため、報道関係の方々にもご協力をお願いしたい。

悪いニュースが多く、4つの演舞場に均等に有名連を配置する演出で観光客に喜んでいただきたい、どこか1箇所限定した形では阿波おどりは続かないと思う。チケット販売についても力を入れていただきたい。

**【委員長】**

去年に比べて厳しい条件であると意見をいただいたが、確かにその通りである。

去年の8月12日から15日は土日月火であった。土日が2日間あり、土曜日のチケット販売率が99.5%、日曜日が88.1%売れていた。14日の月曜日が71%、15日は56%であったということで土日以外はかなり厳しい状況である。今年は日月火水ということで曜日の配列は非常によくない。それから豪雨の影響その他、色々な意見をいただいたが、報道でのイメージがかなり良くない、ネガティブ情報が報道された。

先日の某番組の放送でコメンテーターがいろいろな意見を発言されていたが、元ネタの情報が某週刊誌の記者の話で、それについて意見を言う形になっていたので大変な報道になっていた。

**【A委員】**

報道内容が事実なら仕方がないが、私たちはあの報道内容がすべて事実だとは思わない。

**【委員長】**

報道内容については事実無根である。

総おどりが何かを知らない方が多い。以前に県外の方がたくさん集まっている会合に参加した時に、総おどりがどのようなものか、知らない人がたくさんいた。総おどり中止という報道が出て阿波おどり自体が中止と思っている方が非常に多いという現実を知り驚いた。

**【A委員】**

正確な報道をお願いしたい。私たちは、阿波おどりを良くしたいという気持ちでいるので正しい報道をお願いしたい。地元にいる報道の方々には盛り上げていくという気持ちを持っていただきたい。

**【委員長】**

資料6円滑な阿波おどりの実施に向けて、これを関係者に配布する場合に対象者はどれくらいになるのか。

**【事務局】**

400程度に郵送を行う予定。

**【委員長】**

資料6の文章を踊り連の方を中心に400程度に送付することでよろしいか。意見等がないため、送付することに決定する。

新聞報道等で承知の方も多いと思うが、現在アスティとくしまで前夜祭のリハーサルが行われている。踊り手の熱心な練習風景を一度ご覧いただければ委員の皆様も阿波おどりに対する気分が盛り上がってくるのではないかと思うので、時間があれば是非足を運んでいただきたい。

今年の阿波おどりは新しい体制になり初めての運営となる。事業の実施に向け試行錯誤をしながら、ここまで進めてきたが、阿波おどりは未来に向けてしっかり受け継いでいかなければならない貴重な観光資源であり、市民の生活の一部にもなっている伝統芸能である。そうしたことから事業が終了したらできるだけ早い時期に今年の実業の検証を行う必要があると考えている。

**【A委員】**

今年は時間がなくて、やりたくてもできなかったこともある。

**【委員長】**

事業が終わったらできるだけ早く検証をして次の年に繋げていくということとする。

**【事務局】**

前夜祭について、1部2部の構成で1部は阿波おどりのぞめき三味線を中心に演奏活動をされている渦の会によるオープニングステージに続きまして、有名連のうずき連とゑびす連が共演を披露し、2部については徳島県阿波踊り協会所属の17連によるショーアップした阿波おどりを披露することとし、1部2部合わせまして総勢約600名による絢爛豪華な踊り絵巻をお楽しみいただくこととしている。次に有料演舞場の22時以降については徳島県阿波踊り協会所属の踊り連を中心に有名連ばかりが踊り込むこととしており、そのフィナーレについては、すべての演舞場で見物客の皆さんに演舞場まで下りてきていただき、有名連の鳴り物と踊り手の方と一緒に気持ちよく踊っていただく演出を考えている。

**【委員長】**

以上を持って第5回阿波おどり実行委員会を終了する。